

2021年度
地球環境『自然学』講座
第5回

テーマ

シマフクロウの保全と

森里川海のつながり

講 師

NPO 法人シマフクロウ・エイド

代表理事 菅野 正巳 先生

2021年6月12日

認定NPO法人・シニア自然大学校

講師プロフィール

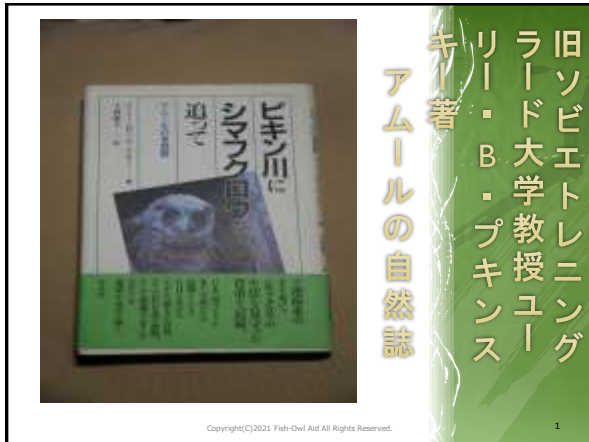
菅野 正巳（すがの まさみ）



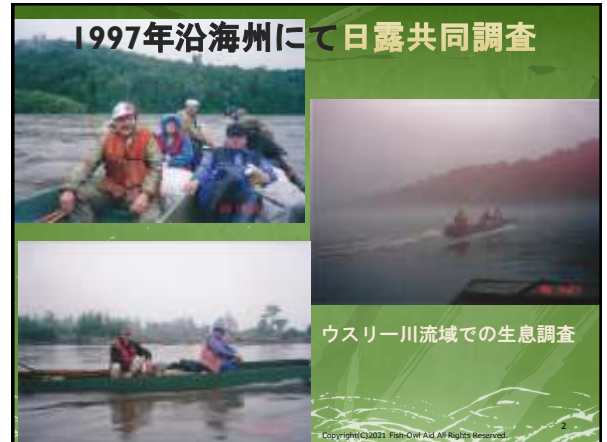
経歴

- 1961 年 東京生まれ
- 1992 年 アメリカン放送 ABC NEWS 東京支局退職後、北海道へ移住
- 1993 年～ 環境省嘱託シマフクロウ保護調査員
- 1995 年～ 北海道森林管理局 自然保護管理員
- 1996 年 日露合同シマフクロウ共同調査で沿海州訪問
- 2004 年～ 山科鳥類研究所 標識調査員
- 2007 年～ 環境省委託 希少野生動植物種保存推進員
- 2008 年～ NPO 法人シマフクロウ・エイド代表理事
- 2015 年～ 国指定鳥獣保護員
- 2017 年 第 52 回 社会貢献者表彰受賞

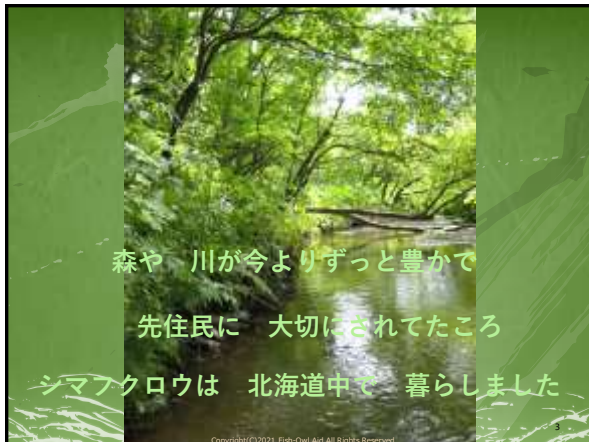




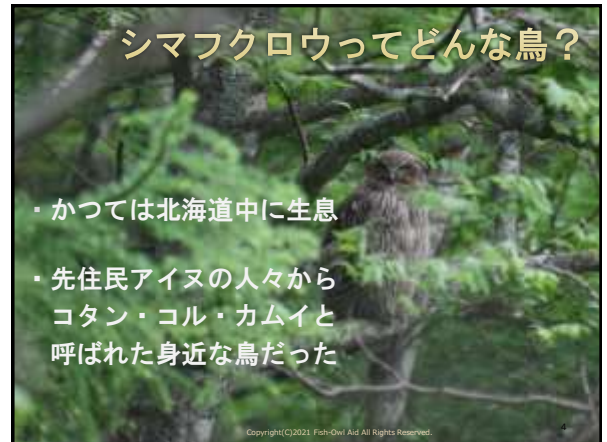
1



2



3



4



5



6

魚を食べるフクロウ

褐色ウオミミズク



マレーウオミミズク



Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

7

給餌池への放流



Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

8



Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

9

国の事業の **合間** がとても重要！

- 給餌池を設置した後の **メンテナンス** 等
- 巣箱設置後の **見回り**、繁殖確認など **利用状況調査** など
- 生息地周辺の **パトロール** など

しかし、
十分な予算が無く厳しい現実・・・
次世代の保護調査の担い手問題も深刻・・・

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

10

では、どうしたらいい？

そもそも、シマフクロウの将来にとって必要な支援は・・・？

- ・調査や生息地パトロールを今後も継続していく
※(最重要・基盤)

さらに、

- ・地域住民(とりわけ子供たち)が知り、関心を持っている状況が大事

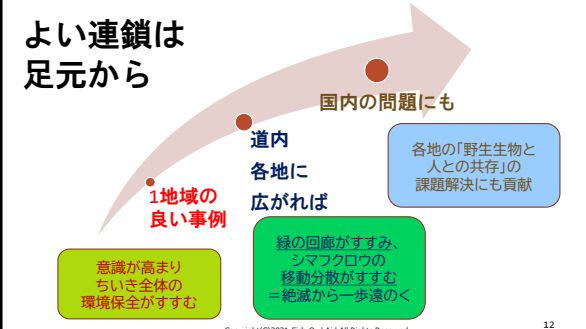
これなしに、保護活動の発展はない！

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

11

Think globally Act locally

よい連鎖は 足元から



国内の問題にも

- 道内各地に広がれば
- 1地域の良い事例
- 意識が高まり、ちいさな全体の環境保全がすすむ
- 緑の回廊がすすみ、シマフクロウの移動分散がすすむ = 絶滅から一歩遠のく
- 各地の「野生生物と人との共存」の課題解決にも貢献

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

12

シマフクロウ・エイド 設立

2008年
エイド=支援する意
シマフクロウを支援し、共生できる人・社会作りを支援

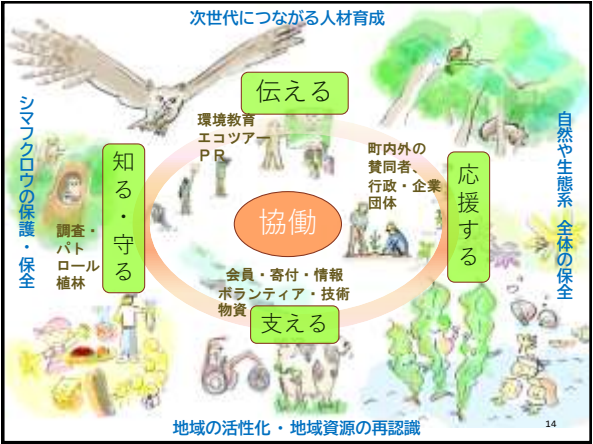


私たちは、個人や企業、団体
行政の皆さまの協力や支援を
得ながら普及・啓発を勧め
シマフクロウ保護をすすめる
NPO法人です。

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

13

13



14

エイドの保護・保全のとりくみ

生息調査、生息地パトロール
給餌池の管理
補助給餌
おさかな寄付
誰でも支援
に参加



Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

15

15

エイドの保護・保全のとりくみ

植林
2013年からスタート！
シマフクロウの未来のために



Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

16

16

エイドの普及・啓発のとりくみ

出前授業「シマフクロウ学習」（地域の子どもたちに）



Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

17

17

エイドの普及・啓発のとりくみ

調査の成果・課題を「教育に還元」
次世代の担い手と課題を共有



Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved.

18

18

私たちに出来ること・・・



- 生息域を荒らさない
- 地域連携
- つながりを理解する「教育」

● 地域の森里川海のつながりがどうなっているのか？皆で知り、皆で管理していく。

「生態系の中で生かされている私たち」

● 理解し 意識した行動へ

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved. 19

19

繁殖期に生息地に近づかない



● 生息域を荒らさない(配慮)

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved. 20

20

つながりを知る 酪農 ハーゲンダッツの故郷



土地のせいけつ、自然のつながりを知る

おいしい牛乳と森の関係って？

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved. 21

21

つながりを知る 漁業 良質な昆布・ウニ



土地のせいけつ、自然のつながりを理解する

おいしい昆布やウニと森の関係って？

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved. 22

22

つながりを知る 希少な生きもの



シマフクロウが安心して暮らせる森って？

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved. 23

23

森・里・川・海の持続的な保全につなげるには



住民への周知 情報提供のよびかけ

行政

関係機関との 情報共有・協働

住民

NPO など

次世代につづく生態系

連携

一次産業

地域連携が ちいさの 自然を守る カギ！

Copyright(C)2021 Fish-Owl Aid All Rights Reserved. 24

24



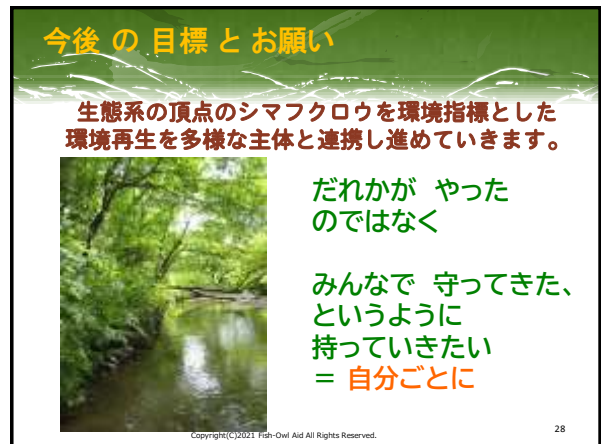
25



26



27



28



29



30